



発行 東京片貝会
責任者 本田秀幸
大田区南久が原2-32-10
電話090-4831-5580

東京片貝会 第62回総会
自粛し会食無しで開催

ワクチン接種が始まったものの、変異株による再度の感染拡大など、まだ尾を引きそうです。皆様にはお元気で過ごしてはいかがでしょうか。さて、当会総会について理事会で協議を行った結果、昨年中止となっており、連続しての中止を避けるべくコロナ禍の状況ではありますが、自粛しつつ下記の通り開催することとしました。

総会には活動報告、会計報告と延び延びになつていった役員改選を上程しますが、下に記載の方法により対応させていただきます。また、大勢での会食を避ける意味から、飲食を行わないこととしました。片貝などからのご来賓との懇親会も楽しみにしていました。が、ご招待も自粛することにしました。健康状態に少しでも心配ある方は、出席を控えていただき、くれぐれもご無理をなされませぬようお願いいたします。極力最小限の人数での開催とし、出席される方はマスクの着用をお願い申し上げます。

日誌

令和3年6月27日(日)
午後二時半〜三時半
(二時より受付)

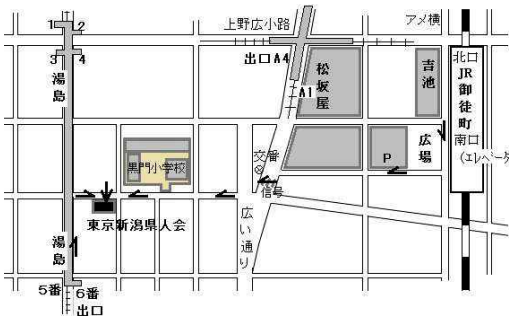
会場

東京新潟県人会館
台東区上野1・13・6

電話

03・3932・7619
会費 飲食無し無料

返信は6月16日(水)
までお願いいたします。



総会議事について

総会に上程する事業報告、会計報告と延び延びになつていた役員改選については、以下の通り対応させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。

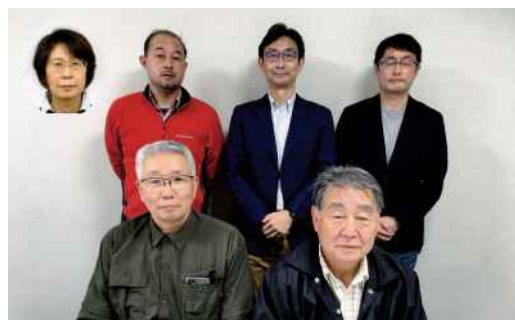
会としての活動は教育講演会を中学校にお願いして開催した他は全て中止を余儀なくされました。

令和2年度の会計報告は会計監査の承認を得て別紙の通り報告させていただきます。

延期しております役員改選については理事会より推薦する役員候補を左記します。で、返信ハガキにて会員の皆様のご意向をお知らせください。ご意向を参考に総会参加者で、決定させていただきますとしました。

- 改選役員候補(小学卒年)
会 長 安達亮一(42)
副会長 内藤富美子(43)
副会長 徳永隆浩(52)
事務局長 藤塚伸雄(48)
会計監査 相崎俊夫(40)
会計監査 相崎清輝(57)
総会で承認いただく役員は右記の通りで、その他会計部長、広報部長、母校を励ます会長などの役員は新規理事会で決定されます。
さて、安達亮一さんは現在副会長で66歳、実家は一の町、

島屋さんであり、お祖父さんが当会二代目会長の安達竜作さんの兄弟であります。



会の動き

- 左から前列 安達亮一、相崎俊夫 後列 内藤富美子、徳永隆浩、藤塚伸雄、相崎清輝
理事会
於 新潟県人会館 11/15
本田会長以下 11名
・経過報告、新年会開催是非、役員改選の件
理事会
於 新潟県人会館 12/13
本田会長以下 13名
・102号会報発送
東京片貝会新年会中止 1/31
理事会
於 新潟県人会館 4/18
本田会長以下 11名
・経過報告、決算報告、総会開催是非、役員改選

コロナ禍の暮らしアンケート

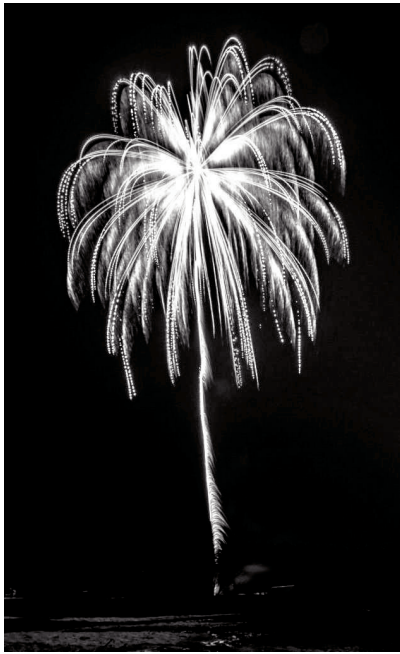
63名の会員の方々からご回答いただきました。

- ①「体調はいかがですか？」
・「元氣」41名、
・「まあまあ」14名
・「ちつと弱ってる」6名、
・「不調」0名。
②「コロナ禍で楽しめたことありましたか？」
・「近所を散歩」31名などなど、少数ではありましたが
・「片貝に帰省した」5名
③「片貝の実家や友人とどれ位の頻度で連絡してますか？」
・「半年以内に電話した51名
・「1年以内に電話した7名
・「1〜2年声を聞いていない」1名、
・「数年以上声を聞いていない」13名。
④「片貝で希望者の花火を打ち上げていたことを知っていますか？」「はい」45名、
・「いいえ」17名
⑤「片貝サポーターズ倶楽部で親戚や知人が花火を揚げましたか？」
・「はい」21名
・「いいえ」35名
・「自分も花火を揚げた1名
余白の通信欄にも温かい励ましのお言葉をたくさんいただきました。本当にありがとうございました。

片貝花火大会 悪疫退散祈願奉納煙火 報告部

この度、3月28日最終日の「悪疫退散祈願奉納煙火」につきましては、ご町内をはじめ、全国の片貝花火ファンの皆様から140万円を超える多大なるご支援・ご協賛を頂戴し、無事に打ち揚げをさせて頂いていただきました。心より御礼申し上げます。ありがとうございます。ありがとうございました。

ご協賛いただきました皆様には、返礼の品を送りましたので、ご受納ください。また、ご希望の品を上げます。この度の奉納煙火打ち揚げの記念として、永くお手元に置かれましては幸いです。なお、これをもちまして、昨年6月15日以来の一連のロングラン奉納煙火企画は無事終了し、当倶楽部は一旦、プロジェクト活動を休止とさせていただきます。



ていただきます。手探りの試みでもあり、不行き届きの点多々あったことと存じます。9ヶ月という長期間にわたり、様々のかたちで活動をお見守りいただき、感謝の念に堪えません。

今後引き続き、「花火と職人のまち 片貝」に温かなご支援を宜しくお願い申し上げます。

ご協賛総額140万2千円
ご協賛者数143名

悪疫退散祈願奉納煙火

【日時】

令和3年3月28日(日)

午後7時〜約15分間打ち揚げ

【場所】

浅原神社裏打ち揚げ場

【内容】

①オープニングスターメイン

②新作尺玉10選

- 一、花衣 く冬の彩りく
- 二、満天の星とシリウス
- 三、越後手毬
- くスライド格子縞く
- 四、柳火千輪
- 五、柳につばめ
- 六、時差式変化芯変化菊
- 七、芯入銀覆輪
- スライド牡丹
- 八、銀覆輪六化ストライプ
- 九、カレイドスコープ
- 十、花衣 く彩りの世界く

【返礼】

ご協賛金コース毎に特別煙火番附等の返礼品をご用意

【協力】

浅原神社第五区社務、片貝煙火協会、(有)片貝煙火工業

片貝花火サポーターズ倶楽部
代表 安達 靖(西戌会)

町のびんぐ

■公認スポーツ指導者表彰

片貝医院の根本院長がこのほど(公財)日本スポーツ協会から令和2年度公認スポーツ指導者として永年表彰を受けた。根本院長は、協会公認の体操コーチ・スポーツドクター・ジュニアスポーツ指導員として活躍されています。片貝中2年の松井乃亜さん

【社会を明るくする運動】

「社会を明るくする運動」新潟県推進委員会の作文コンテストで県推進委員賞を受賞した。小学6年時の優秀賞に続いて2回目。題名は「初心」でSNSでの誹謗中傷問題について考えたものとのこと。

■インドアゲートボール大会

小千谷市インドアゲートボール大会で片貝クラブが優勝した。8チーム延べ133人が参加し、感染症対策を万全に、マスク着用で静かに競技を楽しんだ。優勝メンバーは安達博栄、浅田實、小宮富子、阿部尚子、和田智子、黒崎綾子の6名(敬称略)。

■県書き初め大会

県書き初め大会・硬筆書き初め大会の結果が発表され、毛筆で片貝小出身の鈴木るうさん(長岡附属中2年)の作品が県立近代美術館長賞に選ばれ、2年連続の特別賞受賞となった。準特選以上の入賞者は次のとおり。

【ご寄付者名】

【東京片貝会へのご寄付】
左記の方々から東京片貝会へご寄付を頂きました。厚く御礼申し上げます。(敬称略)
(R2・11) R3・3)

- 大刀川三郎(15)、阿部修次・神林勝夫(21)、大塚順一・友田善智・山本文子(22)、大坂照子(25)、荒木ムツ・石橋行夫(27)、安達隆(28)、野崎真知子(29)、大塚國夫・藤塚悟(31)、安達弘(33)、山家恵美子(35)、本田秀幸・松井京子(37)、小野塚和夫・芝強(38)、安達亮一(42)、内藤富美子(43)、白石知子(60)

ており、一段と少子化が進んでいる。
(増減は令和2年5月1日比)
▽片貝小 11年20人、2年22人、3年37人、4年30人、5年29人、6年36人、計174人(6減)
▽片貝中 11年25人、2年33人、3年39人、計97人(4減)
■街路灯をLED化
片貝町の大通りの街路灯がLED化された。あわせて看板のデザインも刷新され、大輪の四尺玉花火と浅原神社カラフルに描かれた。

「雪国で手塩にかけて作った”白い宝石”」

米どころ雪国おぢやでつくられた”魚沼産コシヒカリ”
清らかな水と肥沃な土地で丹精込めて作った逸品です。
おいしさと安心を追求した黄金色の稲穂から精米された”白い宝石たち”
その炊きあがりの艶と風味の良さは魚沼産ブランドの名にふさわしい逸品です

詳細は ⇒ JA 越後おぢや 検索

JA 越後おぢや
〒947-0031
新潟県小千谷市土川1-12-25
☎0258-83-3425

レーザー加工
各種看板
ステッカー
デザイン
etc

オノゾウ精工株式会社
企画室

TEL 0258-84-4010
小千谷市片貝町10380-1
URL <http://www.onozoo.com>

疫禍にめげず 待ってます
変わらぬ故郷の味

金寿司
本田 司(飛翔会)

小千谷市片貝町5037-1
TEL 0258-84-2342

※有料企業広告を募集中※

母校を励ます会 お知らせ

温かいご支援、ありがとうございます

母校を励ます会が発足して40年になります。この間、毎年小・中学校への図書費の贈呈と同窓生による教育講演会を欠かさず実施してきました。郷里の後輩たちの健やかな成長と活躍を願うての皆さまのご支援、ご協力あってこそ歩みです。

しかも総会などお互いに顔を合わせる機会が延び延びになつていくところ、毎号この紙面で掲載しているとおり、数多くの東京片貝会の皆さまから変わらず基金ご協力をいただいていることは心強いかがりであり、ここに厚く感謝申し上げます。

また、教育講演会は小・中学校の先生がたや中学校同窓会など地元片貝の皆さまのご理解、ご協力のおかげで例年どおり開催できるよう今年も用意を進めています。ご存じのとおり講師には50歳を迎え記念行事に何かと慌ただしい同級会から毎年ご登壇願っており、今年もここにご案内のとおり早々に決めていただくことができました。

これからも皆さまの温かい

・中学校へ直接送付します。

【母校を励ます会基金】

「協力者名」

左記の方々から基金ご寄附を頂きました。厚くお礼申し上げます。(敬称略)

(R2・11~R3・3)

太刀川三郎(15)、阿部修次

・ 神林勝夫(21)、大塚順一

・ 友田善智・山本文子(22)、

長岡利夫・丸山恭次(23)、

溝手俊一(26)、荒木ムツ・

石橋行夫・佐藤祐一・藤塚文

顕・松岡規子(27)、安達隆

・ 黒崎勝・品田紀美子(28)、

松本キイ・宮下愛子・吉井均

(29)、大塚國夫・小野塚清

・ 小宮義興・藤塚悟(31)、

諸我時夫(32)、安達弘(33)、

工藤イツ・山家恵美子(35)、

高野昭人

ふたば会

高野昭人

の生誕地を訪ねて

活に返れるのは、と内心ムズムズしています。

ヒマラヤ・トルキングや、シルクロードにある青の都サマルカンドや船の墓場有名なアラル海を擁するウズベキスタンに興味のある方は是非ご連絡ください。一緒に語りましょう。このような生活を言い訳として、東京片貝会の理事としての勤めを果たせていませんが、どうぞよろしくお願ひします。

(イブン・スイナー(英語名 アヴィセンナ)は千年ほど前のペルシャの大学で、その遺した薬草書(11C)の中にタンポポが登場します。)

広沢雅子(36)、大矢とらじ

・ 高野鈴子・寺町明美・本田秀幸・松井京子・吉原敏明

(37)、浅井忠明・小野塚和夫・芝 強・本田利美・吉田邦男(38)、佐藤正志・谷内弘(39)、相崎俊夫・太刀川和雄(40)、安達徹(41)、安達亮一・勝又一司(42)、

内藤富美子・藤塚弘(43)、

深江久美子・藤塚伸雄(48)、

安達良喜・堀井ひとみ(54)、

佐藤潤(55)、吉田貴裕(56)、

相崎清輝(57)、友田啓(58)、

白石知子(60)、小林秀明(63)、

小椎尾ふゆか(H2)

【ご協力者名】

左記の方々から基金ご寄附を頂きました。厚くお礼申し上げます。(敬称略)

(R2・11~R3・3)

太刀川三郎(15)、阿部修次

・ 神林勝夫(21)、大塚順一

・ 友田善智・山本文子(22)、

長岡利夫・丸山恭次(23)、

溝手俊一(26)、荒木ムツ・

石橋行夫・佐藤祐一・藤塚文

顕・松岡規子(27)、安達隆

・ 黒崎勝・品田紀美子(28)、

松本キイ・宮下愛子・吉井均

(29)、大塚國夫・小野塚清

・ 小宮義興・藤塚悟(31)、

諸我時夫(32)、安達弘(33)、

工藤イツ・山家恵美子(35)、

若え衆登場

イブン・スイナー(アヴィセンナ)の生誕地を訪ねて

高野昭人

ふたば会

高野昭人

の生誕地を訪ねて

活に返れるのは、と内心ムズムズしています。

ヒマラヤ・トルキングや、シルクロードにある青の都サマルカンドや船の墓場有名なアラル海を擁するウズベキスタンに興味のある方は是非ご連絡ください。一緒に語りましょう。このような生活を言い訳として、東京片貝会の理事としての勤めを果たせていませんが、どうぞよろしくお願ひします。

(イブン・スイナー(英語名 アヴィセンナ)は千年ほど前のペルシャの大学で、その遺した薬草書(11C)の中にタンポポが登場します。)



第39回教育講演会

開催(内定)のご案内

日時 10月8日(金)

午後から(予定)

場所 片貝中学校体育館

講師 吉原 忠彦氏

一ノ町出身 鳳凰会

略歴 昭和62年片貝中学校卒業後、小千谷高校、新潟

大学理学部を卒業し、越後

製菓株式会社に入社。

現職 越後製菓株式会社

代表取締役社長

High-Pressure

Support株式会社

取締役

越後食品株式会社

取締役

株式会社安全給食サ

ービス取締役

株式会社高弥産機

監査役

講演概要 日本の伝統食で

ある餅や米菓、ご飯の話を

通して、ものづくりの原点

と最新の食品技術のお話を

していただく予定です。

S47卒・山屋出身の高野昭人です。現在、町田市にある昭和薬科大学薬用植物園に勤務しています。高校卒と同時に片貝を離れ、富山、大阪、金沢と転々と、1994年から現在の職場に勤務しています。大学時代から野外調査に重心を置いた仕事についており、学生時代はタンポポを求めて日本中を駆け回り、一時、ネパール・ヒマラヤに、現在はウズベキスタンにはまっています。残念ながらCOVID-19の感染拡大により、昨年来、行動が制限されていますが、ワクチン接種が進み、感染状況が改善されれば、自由にタンポポの地を駆け回る生

かかりつけのてんぎ屋

eプラザ

片貝店

小千谷市片貝町4508-15

(0258) **84-4011**

— 食堂・会席 —

美好亭

小千谷市片貝町6505

TEL 0258(84)2107

FAX 0258(84)3334

ASADA SEIKO CO.

精密機械部品加工

株式会社 **浅田精機**

〒947-0101

新潟県小千谷市片貝町4481-4

☎ 0258-84-2911

FAX 0258-84-3855

http://www.asadaseiki.jp

M.SLASH

エム・スラッシュ

美容室 HAIR・NAIL・PHOTO

【お店】 世田谷(桜新町)・自由が丘・センター南・センター北・市が尾・たまプラザ・VIS・新百合ヶ丘・東戸塚・本牧・藤沢・FIEL・横浜元町

岸井久美子 つどい会

ふるさと・片貝会報

RR2年11月より
R3年4月まで

母校近況

■小学校 大原教頭先生

【もみのキッズ学びランド】

体育館での密を避けるため、1・2年、3・4年、5・6年の3つの部に分けて実施しました。1・3年生は息の合った合唱・合奏を、5年生は半纏を着て「奉納木遣」と「おけさ・さかのぼり」を披露しました。2・4・6年生は、総合の時間に調べた「片貝の職人」成人戦「片貝三尺玉物語」をセリフに思いを込めて発表しました。子どもたちの達成感と地域愛いっぱいの学習発表会になりました。



【鼓笛隊引き継ぎ式】

1月29日、4〜6年の子どもたちとその保護者のみで行



いました。3か月前から6年生が5年生に指導を始め、パートが決まっただけは「指揮者を見ること」「みんなと動きを合わせること」を特に意識して休憩時間も使って練習してきました。新総指揮から「皆さんから受け継いだ伝統をしっかり引き継ぎます」との決意発表があり、新鼓笛隊の力強い演奏が披露されました。

【6年生を送る会】

5年生による企画・運営のもと、1年生のプレゼント、2年生のダンス、3年生の「ありがとうコール」、4年生の「くす玉割り」で在校生が6年生へ感謝とお祝いの気持ちを伝えました。卒業生はBTSのカッコいいダンスを披露し、教えてもらいながら1〜

5年生も一緒に踊りました。最後に5年生が卒業生から教えてもらった「木遣天舞」を披露。「片貝小学校を皆さんから引き継ぎ、もっと明るく元気な学校にしていきたい」と決意を語りました。

【児童の活躍】

令和2年度後半も、絵画や書き初めで多数が入賞、大活躍でした。片貝町民駅伝大会には小学生が6チーム出場、6年生は選手に応援団にクラス全員で大会を盛り上げました。中越学童クロスカントリー



ースキー大会では6年女子2kmクラシカルの部で藤塚まりさんが準優勝し、全日本選抜クロスカントリースキー大会に出場しました。

■中学校 佐藤教頭先生

11月の「ふるさと学習発表会」では、1年生が、「奉納木遣り」と「道中木遣り」を歌いました。2年生は、「花火・半纏・しやぎり・佐藤佐平治」について調べ、画像や寸劇で発表しました。3年生は、「片貝のよりよい未来と自分たちができること」を考え、具体策を提言しました。

7月から部活動は、新チームとなりました。大会やコンクールは中止となっていました。バレーボール部は、南中学校との合同チームで中越新人大会6位となり、県新人大会に出場しました。バスケットボール部は、中越新人大会でベスト16となりました。野球部は、小千谷中と南中との

合同チームで、市内新人大会で優勝しました。吹奏楽部は、県アンサンブルコンテストに管楽8重奏で出場し、銀賞を獲得しました。

クロスカントリースキーでは、県中学校スキー大会で、藤塚美礼さんが、女子クラシカル・フリーの両種目で優勝しました。小堺陽日さんは、男子クラシカル6位・フリー2位となりました。二人とも全国中学校スキー大会への出場権を獲得しましたが、残念ながら中止となりました。



北海道の名寄市で開催されたJOCジュニアスキー選手権大会では、藤塚美礼さんが、中2女子クラシカルで2位（写真右側）、小堺陽日さんが、中2男子クラシカル5位・フリー2位（写真左側）・リレー5位（4走）の好成績を収めました。



第74回卒業生「悠幸会」29

人が卒業し、25人の新入生を迎え、全校生徒97人で、令和3年度がスタートしました。コロナウイルス対策をしっかりと施した上で、生徒は、学習や委員会活動、部活動に一生懸命取り組んでいます。

■「悠幸会」入会式

片貝中同窓会の入会式が行われ、今年卒業の「悠幸会」の29人が新たに加わった。「幸せが長く続くように」との思いを込めて同級会名を付けたとのこと。33歳厄年の若林ひかるさん（一之町）による講演や片貝伝統芸能保存会による木遣りの指導もあった。

令和3年記念行事の同級生（中学校卒業回）

- 成人 晴葉会（第69回）
- 33歳 華成会（第58回）
- 42歳 翠心会（第48回）
- 50歳 鳳凰会（第40回）
- 還暦みつわ会（第30回）

■会員討報

氣田登美様 昭19卒和進級友会

■あとがき

ワクチン接種が始まりましたが、コロナ禍は一向に治まる気配がありません。もうしばらく辛抱が続きます。皆さんお元気でお過ごしください。（小林・徳永・安達・相崎）